

2022年3月期 第1四半期 決算説明会

2021年7月29日

NECネットエスアイ

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

2022年3月期 1Q 業績サマリー

(単位：億円)

	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	前年同期 差/比
受 注 高	844	837	△1%
売 上 高	674	677	+0%
売 上 総 利 益 率	15.4%	18.7%	+3.3pt
営 業 利 益	10	30	+19
(営業利益率)	(1.5%)	(4.4%)	+2.9pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3	17	+13
(四半期純利益率)	(0.5%)	(2.4%)	+1.9pt
フリー・キャッシュ・フロー	165	219	+54

1Q過去最高益を達成

売上MIX改善などが着実に進展

● 受注高/売上高：

(GIGAスクール/メガソーラー)

注力分野の拡大により、大型案件の反動、
孫会社非連結化の影響をカバー

(※注力分野：DX/働き方改革、通信事業者向け)

前期大型案件/孫会社非連結化の影響除き

受注高：+10%、売上高：+9%

● 営業利益/四半期純利益

売上MIX改善、効率化等により
収益性が大幅に改善

受注高・売上高・営業利益 増減要因

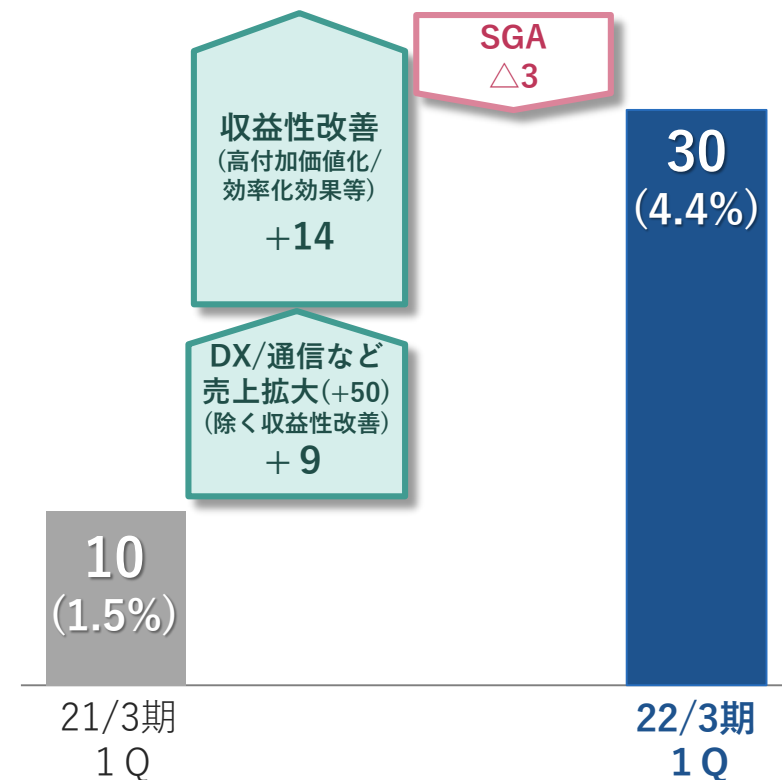
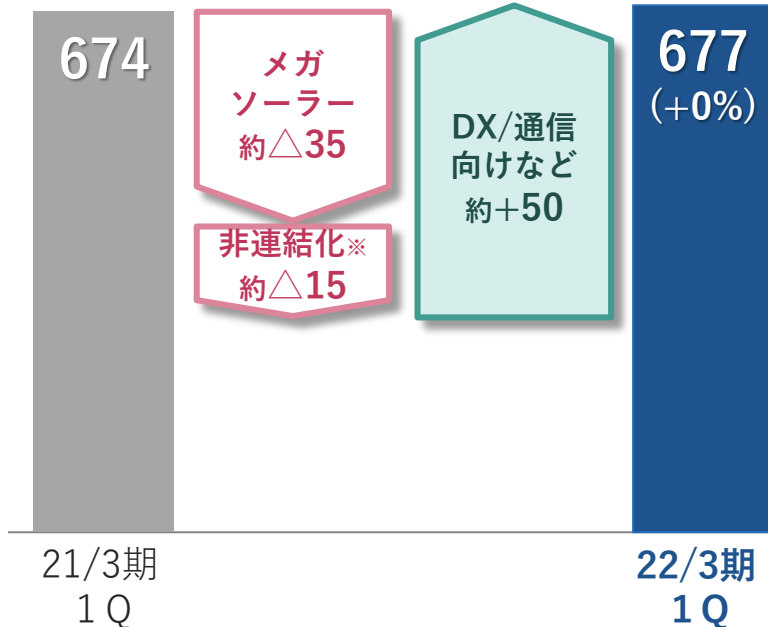
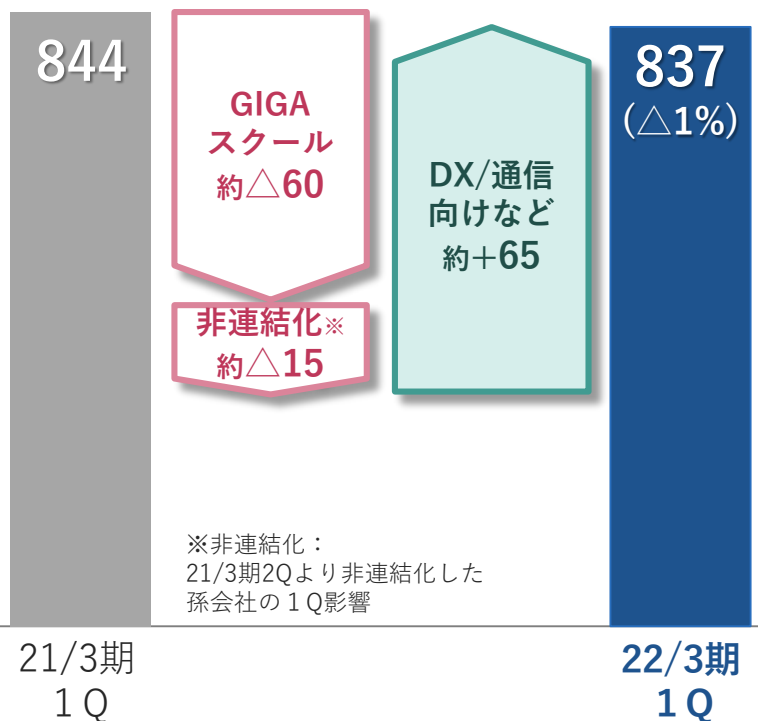
注力分野の拡大により前期大型案件の影響をカバーする戦略通りの進捗
売上MIX改善、効率化の進展により大幅な増益を実現

受注高

売上高

営業利益

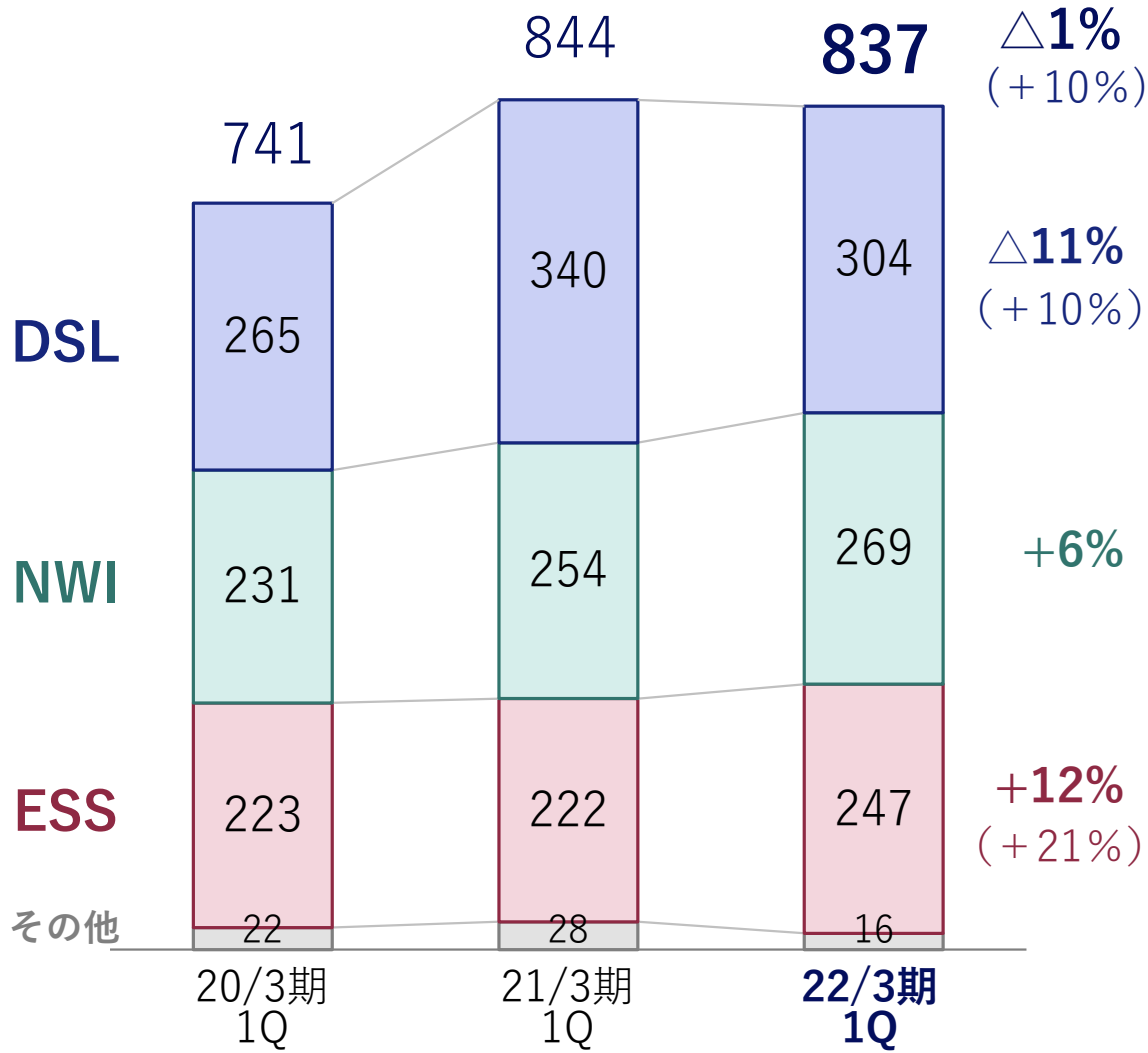
(単位：億円)



2022年3月期 1Q セグメント別受注高

(単位：億円)

()内は、GIGAスクール/
非連結化影響除く伸び率



デジタルソリューション(DSL)

- GIGAスクール(約△45)、孫会社非連結化(約△15)の影響で減少
- DX/働き方改革は継続拡大
 - 自治体向けDXに領域を拡大
- 設備更新等も一部業種を除き回復傾向

ネットワークインフラ(NWI)

- 通信事業者向けが牽引
 - ・ 社会/公共分野も増加

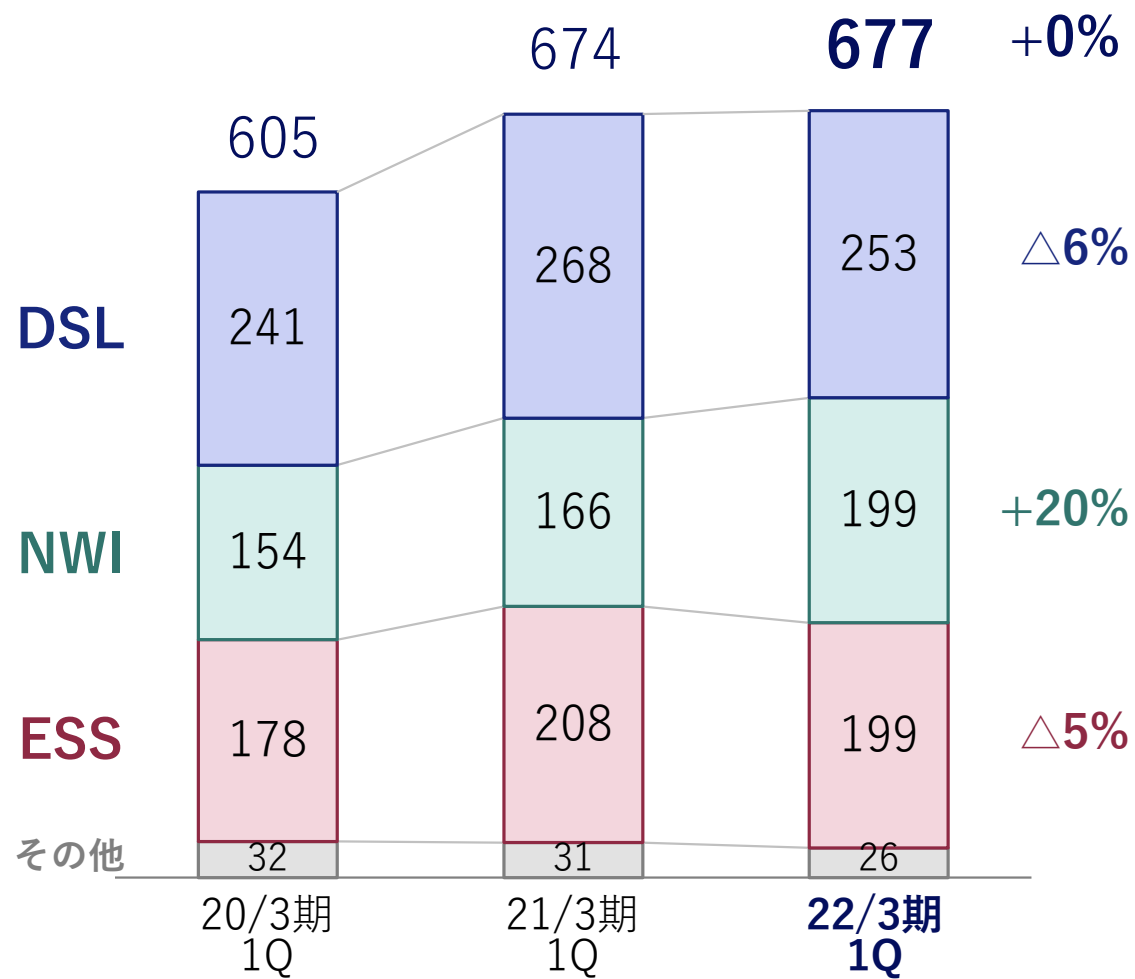
エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

- 国内施工事業が拡大

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、20/3期は数値を組替表示しています。

2022年3月期 1Q セグメント別売上高

(単位：億円)



デジタルソリューション(DSL)

- 孫会社非連結化の影響(約△15)
- 設備更新等は売上減も、DX/働き方改革などのサービス事業は拡大

ネットワークインフラ(NWI)

- 通信事業者向けが牽引
・ 社会/公共分野も増加

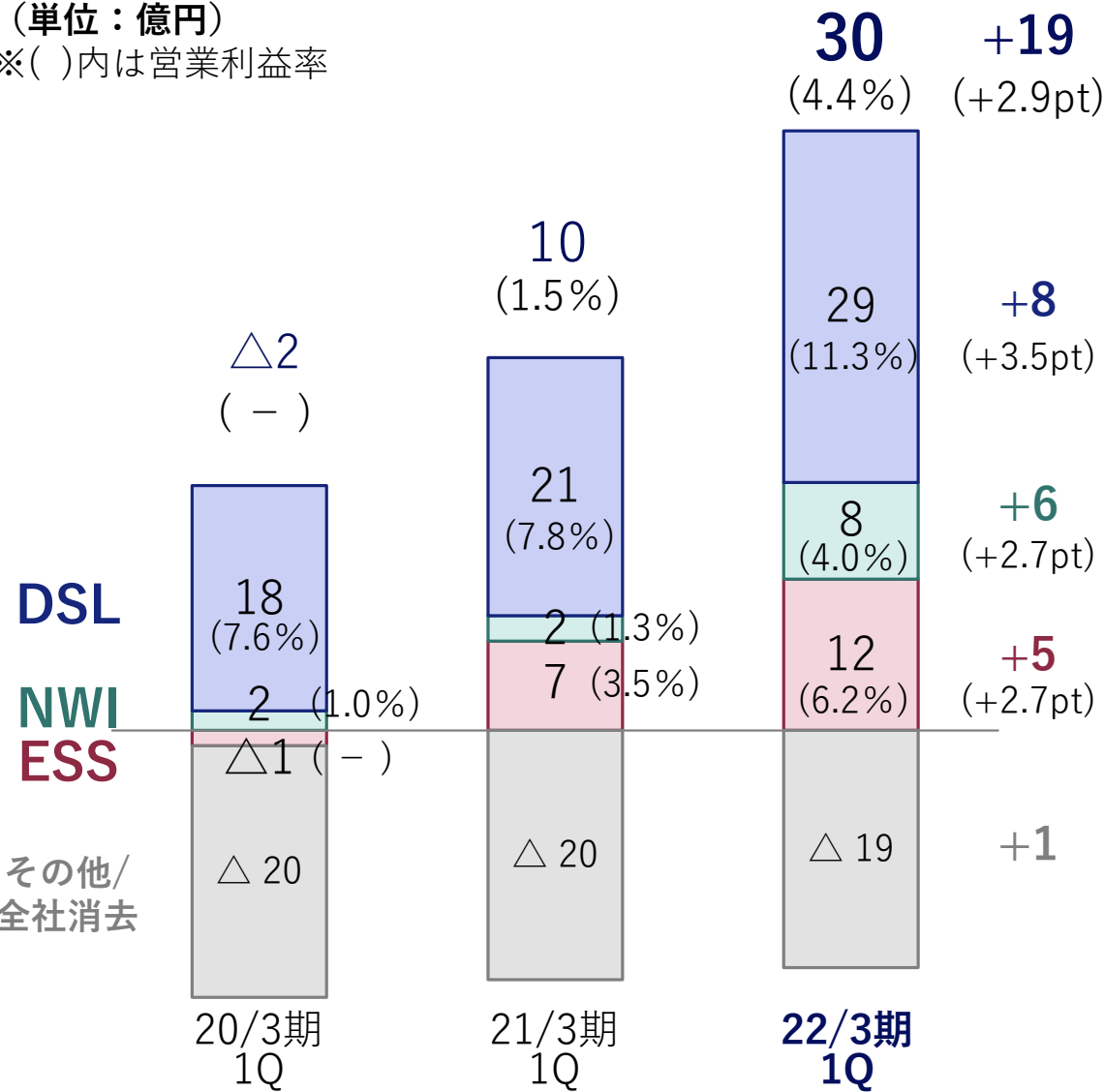
エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

- メガソーラーPJが減(△35)
※上記影響除き：約+15%伸長

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、20/3期は数値を組替表示しています。

2022年3月期 1Q セグメント別営業利益

(単位：億円)
※()内は営業利益率



デジタルソリューション(DSL)

- 事業モデルの転換が進展し、収益性が改善 (サービス+SI 提供モデル)

ネットワークインフラ(NWI)

- 増収効果や売上MIXの改善により増益

エンジニアリング&サポートサービス(ESS)

- メガソーラー不採算改善、売上MIXの改善※により増益 (※メガソーラー減少、通常案件増加)

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、20/3期は数値を組替表示しています。

2022年3月期1Q キャッシュフロー

(単位：億円)

	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	前年同期差
営業活動によるキャッシュフロー (A)	175	231	56
投資活動によるキャッシュフロー (B)	△ 10	△ 12	△ 2
フリー・キャッシュ・フロー (A + B)	165	219	54
財務活動によるキャッシュフロー	△ 19	△ 28	△ 10
現金および現金同等物期末残高	724	875	152

前年大型案件の入金、
サービス化の進展により、
営業キャッシュフローが改善

- 更なるキャッシュフロー改善
に向け、CCC改善活動を強化

※CCC (キャッシュ・コンバージョン・サイクル)

上期業績予想の修正について

(単位：億円)

	21年3月期 上期実績	22年3月期 上期予想	前年同期 差/比	前回予想 (4月27日)	前回差
受 注 高	1,779	1,650	△7%	1,600	+50
売 上 高	1,512	1,470	△3%	1,450	+20
営 業 利 益	67	87	+20	70	+17
(営業利益率)	(4.5%)	(5.9%)	+1.4pt	(4.8%)	+ 1.1pt
親会社株主に帰属する 四 半 期 期 純 利 益	40	55	15	45	+10
(四半期純利益率)	(2.6%)	(3.7%)	+1.1pt	(3.1%)	+ 0.6pt

売上MIX改善の進展などを鑑み上方修正

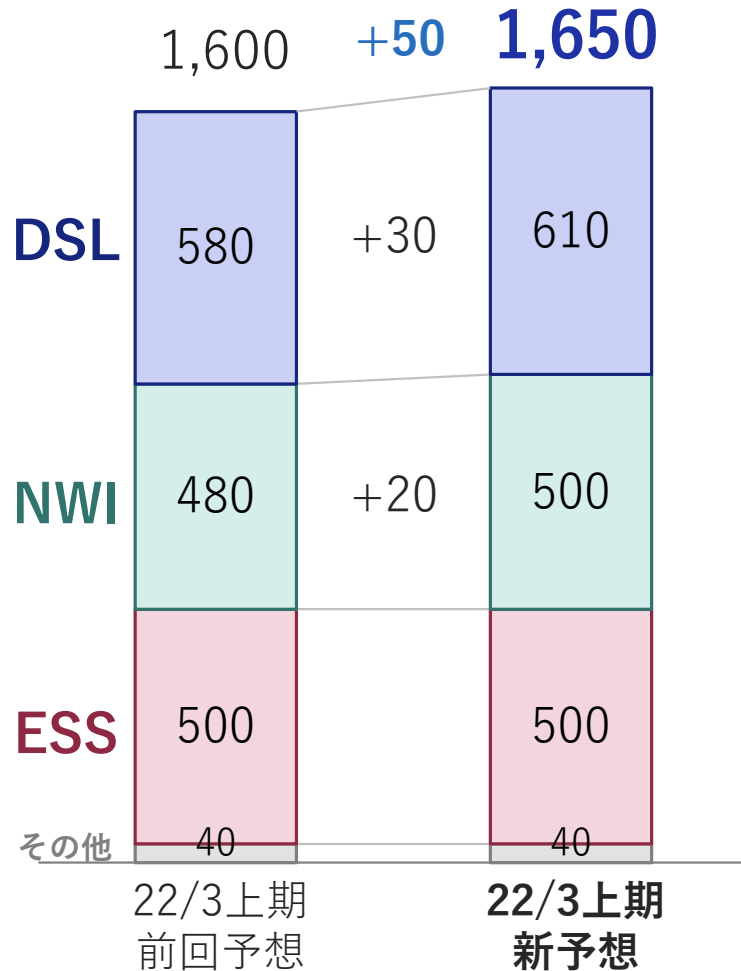
- 注力分野の拡大に伴う
売上MIXの改善を反映

※通期業績予想は、外部環境等の不確定要素を鑑み、期初予想値を据え置き

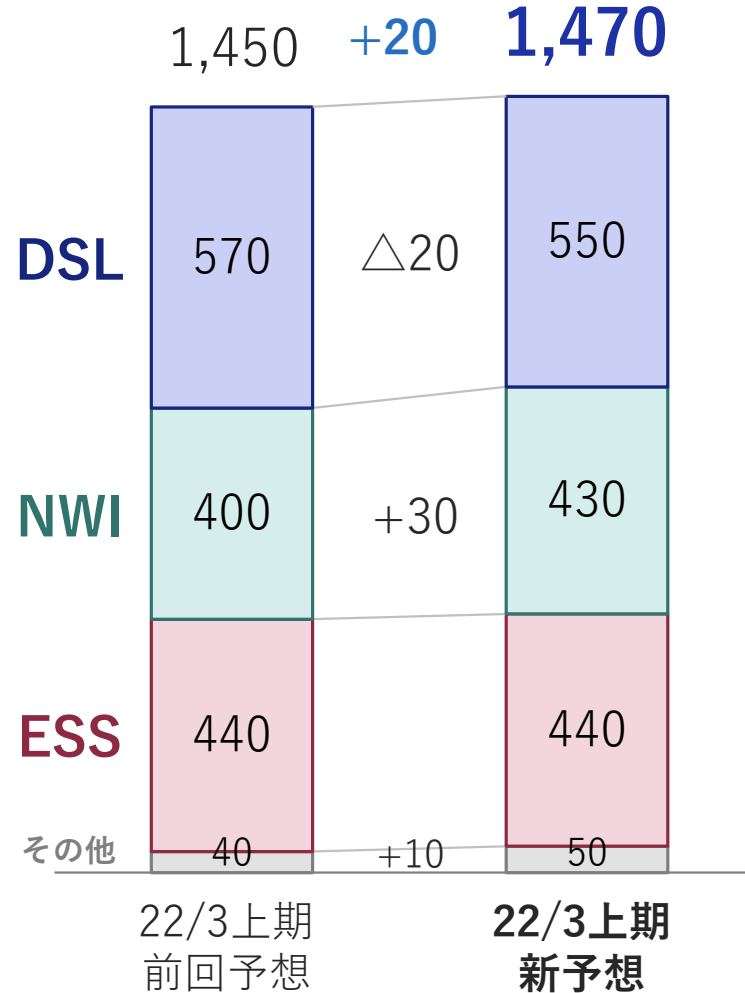
上期業績予想の修正について（セグメント別）

(単位：億円)

受注高

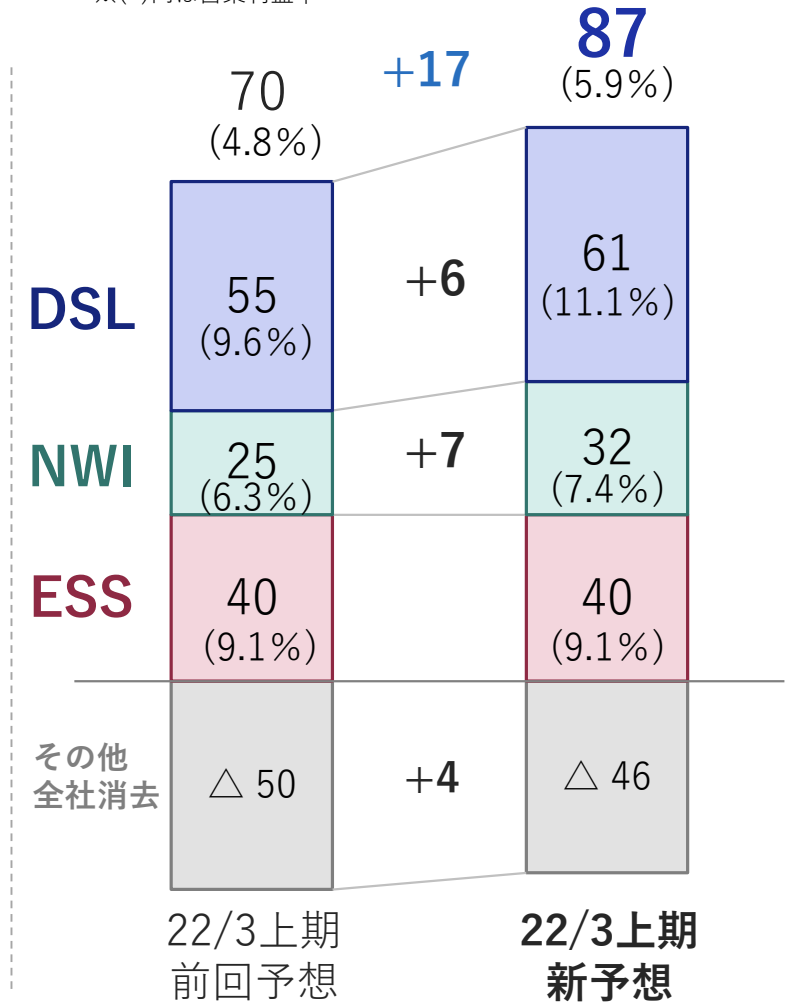


売上高



営業利益

※()内は営業利益率

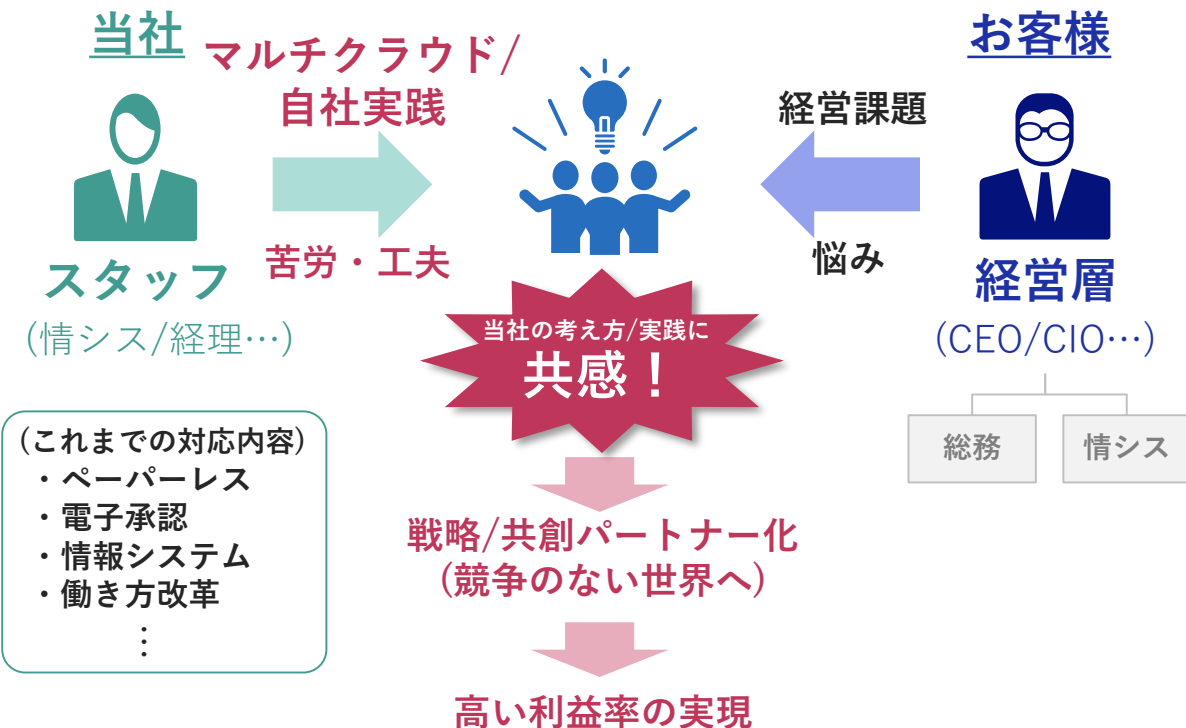


トピックス：自社実践事業モデルの進化

(スタッフのコンサル活用など) (マルチクラウド+従来SI)
自社実践モデルによるコンサルティング + 高品質SI = 戦略/共創パートナー化

➡ 高い収益性の実現とリカーリングな関係を構築

お客様経営層への訴求力を強化



受注事例（某製造業様）※一部上場企業

自社実践に裏付けられた提案を高く評価

受注内容 PC-LCM(既存) + セキュリティ運用・box受注(新規)

更にICTインフラ刷新/運用を商談中



APPENDIX

(参考)2022年3月期(21年6月末) バランスシート

(単位：億円)

			21年3月末	21年6月末	増 減
		現金及び現金同等物	684	875	191
		受取手形、売掛金及び契約資産	1,246	812	△433
		たな卸資産	115	101	△14
		その他流動資産	73	90	17
	流動資産合計		2,118	1,879	△239
	固定資産合計		385	393	8
	資産合計		2,503	2,272	△232

		支払手形及び買掛金	468	300	△168
		借入金	101	109	8
		その他負債	663	599	△63
	負債合計		1,232	1,008	△224
		株主資本合計	1,261	1,247	△15
		その他の包括利益累計額	△24	△20	5
		非支配株主持分	34	37	2
	純資産合計		1,271	1,264	△8
	負債純資産合計		2,503	2,272	△232

自己資本比率			49.4%	54.0%	+4.6pt
--------	--	--	-------	-------	--------



明日のコミュニケーションをデザインする

NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

本資料にある大型案件や孫会社非連結化の影響を除いた前年伸率は概数で表記されています。

2020年4月にセグメント間の事業移管等がありました。2020年3月期の実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ